



市場小だより



学校教育目標「健康で明るく 強く正しく 共に生きぬく子の育成」 10月号その2

令和3年10月18日 小野市立市場小学校

10月は行事が目白押し！

教頭 藤野

9月末で緊急事態宣言が解除され、市場小学校では、感染対策を万全にとりながら、学校行事、学年行事を実施しています。宣言下では中止や延期を余儀なくされていましたが、ようやく予定していた行事を実施することができるようになり、子どもたちも教師も大変喜んでおります。一つ一つの行事を大切にしながら、学び多いものにしていきたいと思っています。

「市場小だより10月号その2」として、10月に入ってから実施された行事の一端をご紹介します。

10/1 学びんピック

フレンドリー班(きょうだい学年)ごとに出し物を考え、お互いに交流しあう「学びんピック」が開催されました。『楽しい』『おもしろい』だけの出し物ではなく、そこには国語、算数、音楽など、各教科学習の『学び』が組み込まれています。異学年の児童がお互いに協力し合いながら、1学期から計画、準備してきました。

今年は、コロナ対策として、クロムブックを活用したリモート開催としました。初めての試みでしたが、各班の工夫を凝らした出し物がスクリーンに映し出され、「楽しく学べる」時間となりました。国語では『漢字クイズ』、社会では『世界の豆知識』、音楽では『音符当てクイズ』など、クイズ中心の出し物が多かったのですが、クイズの出題の仕方にもみんなを楽しませる工夫が加えられていました。子どもたちの発想の豊かさには驚かされます。「リモート開催」という新しい形にもひるむことなく、よりよいものを追求していった子どもたち。本当に素晴らしかったです。



10/4~6 5年自然学校

当初は9月13日から4泊5日で実施する予定であった自然学校ですが、緊急事態宣言発令に伴い、解除後の10月4日から2泊3日で実施しました。プログラムの内容も縮小を余儀なくされましたが、子どもたちは自然の中で積極的に活動し、貴重な経験を積み重ねました。

特に印象に残っているのは、2日目の飯盒炊さんです。子どもたちの動きが素晴らしかったです。ご飯担当、カレー担当、かまど担当に分かれ、手際よく、集中して、主体的に調理や作業を

行いました。みんなで力を合わせ、最高においしいカレーを完成させたのです。黙々とカレーを頬張る子どもたちの顔は、満足感、達成感で満ち溢れていました。

2日目夜のふり返りの場では、「しんどいことにもねばり強くとりくむことができた。」「本当の協力とは何なのかがわかった。」と、多くの子が『努力』や『協力』について考えたことを発表していました。また、「家族の大切さを実感した。」「自然学校ができたこと自体に感謝したい。」「カレーおいしかった。」と感謝されてとてもうれしかった。」と、『感謝』についても多くの子が語っていました。様々な体験活動を通して、大切なことをたくさん学び取った子どもたちでした。

10月7日には、再び加東市を訪れ、嬉野台から三草山登山というチャレンジウォークを実施しました。疲れの残る状態であったと思いますが、子どもたちは自然学校での学びや成長を生かしながら、懸命に歩きました。登山中には、「がんばれ!」「もうちょっと!」「リュック持ってあげようか」など、励ましや気遣いの言葉がけが自然に行われていました。みんなで歩き切り、登り切りました。本当によく頑張りました。



10/5 3年そろばん組立体験

播州算盤組合の方を講師に招き、『世界に一つだけのマイそろばん』をつくりました。職人さんの熟練の技に驚きながら、金づちで枠を組み立てたり、そろばん玉を入れたりしました。完成したときは満面の笑みでした。

出来上がったそろばんで、今後そろばん学習を行います。



10/14 4年福祉体験学習

4年生では、みんなが幸せに、豊かに暮らせる町を作るために必要なことを学ぶ「福祉学習」に取り組んでいます。先日、小野市社会福祉協議会の方々の協力のもと、車いす体験、アイマスク体験の学習を行いました。子どもたちにとっては初めての体験です。介助する側、される側の実際を、体験を通して感じ取りながら、『福祉の心』を育みました。



上記以外にも、6年修学旅行、5年キャリア講演会など、10月には様々な行事が実施されています。市場小だより11月号でまたお知らせいたします。市場小HPでも紹介しています。是非ご覧ください。